



8月 ほげんだよい

7月の保健状況

6月半ばごろから、7月前半までヘルパンギーナが流行し、30人くらいの感染がみられました。また、7月に入ると、発熱・咳の症状がありRSウイルス感染症や手足口病が流行しました。

RSウイルス感染後に、肺炎や気管支炎を併発し入院になるお友達がいました。また、虫に刺されて赤味、腫れの子が多くいました。刺された直後は流水で流し、塗り薬をつけてください。かゆみがひどい時は、市販のパッチやガーゼ保護をして、かき傷からとびひにならないように注意してください。

令和5年8月1日

甲斐市立竜王西保育園

とびひの増える季節です

とびひは、夏の疲れが出る8月の終わりから9月ごろに多くなります。

虫刺されや湿しなどで傷ついた肌を汚れた爪でひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になることがあります。

うみをもったような水ぼうがができ、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと、水ぼうが破れて中の液がついたところに、どんどんと広がってしまいます。水ぼうを見つけたら、爪でひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

「ヘルパンギーナ」に注意

のどの奥に水ぼうがができる「ヘルパンギーナ」がはやっています。夏かぜの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれないようなときは急ぎ病院へ。

- 症状**
- 38～40℃の高熱が2～3日続く
 - のどの奥に白いぶつぶつができる
 - のどの痛み
 - 食欲不振など

- ケア**
- かぜと同じケア
 - こまめな水分補給
 - 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごとしと消化のよい食事



熱が下がって、いつもどおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

RSウイルス感染症

RSウイルス感染症にかかると、激しいせきが出て呼吸が苦しくなります。年長児は、それほどひどくなりませんが、夜になってせきが急に悪化することがあるので注意しましょう。呼吸困難を起こすと命にかかわることもあるので、下のような様子が見られたら朝を待たず、急いで受診してください。

呼吸困難のサイン

- ひどくせき込んで唇や顔色が青い
- 息をすると胸の上部がべこべこする
- 肩を大きく上下させて息をする
- 呼吸が荒く、顔や手足が冷たい
- 呼吸が速く、息をするとき鼻の穴が広がる

楽しいプール遊びのために

子どもたちが大好きなプール遊び！

楽しく安全に遊べるようにご家庭で以下のことにご注意をお願いします。

- ① 毎日お風呂に入り、洗髪する
- ② 爪は短く切る
- ③ 朝ごはんをしっかり食べる
- ④ たっぶり寝る

とびひ、結膜炎、中耳炎などの目、鼻、耳の病気にかかっているかと思う場合は、病院受診をお願いします。

